

視聴覚二重障害者の コミュニケーション支援事業

特定非営利活動法人 視聴覚二重障害者福祉センターすまいる
〒543-0037 大阪府大阪市天王寺区上之宮町 4-40 上之宮台ハイツ 101 号

助成事業の概要

今回の事業目的は、(a) 盲ろう者に対して適切な情報提供を行うための通訳技術の向上。(b) 盲ろう者の存在を広く一般社会にアピールする。この2点です。

事業の開始時期は 6 月からと少し遅れてしまいましたが、当初の計画にほぼそった形で行うことができました。平成 23 年 4 月から平成 24 年 3 月までの期間中、9 回の講習会を開催し、323 人の方々にご参加いただきました。事業内容についても、盲ろう者やろう者をお呼びして、自分の専門分野、自身の体験を通して、知識や技術を教えていただきました。パソコンの普及によって、障害者の間でもネット環境が広がり、それにあわせてパソコン通訳研修も行うことができました。回数自体は少ないものの、単純にパソコンを使っただけのコミュニケーション技術だけではなく、パソコン設置の段階から周辺環境についてまで詳しく講習を行うことができました。

事業の成果

(目標達成度)

今回の事業では、すまいるに関係のある方達から、他府県の盲ろう者団体、地域住民の方、地域の手話教室や手話サークル、市町村ごとに開催される手話講習会など幅広い方面からご参加いただきました。実践的な勉強が出来たとの意見や、盲ろう者と初めて接したという方や、色々なかたと交流することで、手話の学習に良い刺激をいただ

きとても勉強になりました、との意見も頂きました。(1) 盲ろう者に対して適切な情報提供を行うための通訳技術の向上という当初の目標に対して、成果をあげることができました、そして交流していくなかで、新たな出会いと、(2) 盲ろう者の存在を広く一般社会にアピールすることができました。

(得られた成果や課題)

今回の事業では、盲ろう者と実際に交流を通して、より実践的な学習が行えたのではないかと考えています。これにより、教える側と教わる側という一方通行になりがちなものから双方向での活発なコミュニケーションを通じて、より集中度の高い講習を開催することができ、手話技術の向上に繋がっていたのではないかと考えています。これまで磨いてきた技術をより良いものにしていき、定着させるためにも、このような場を継続して行く必要があると考えています。

パソコン研修を行いました。少ない回数で、内容を詰め込みすぎたように感じられました。今後は、もう少し余裕をもって、講習回数を増やすなどして対応していきます。

(参加者の感想)

参加して良かったという声をたくさんいただきました。健聴者が講師となる場合と違い、ろう者や盲ろう者が講師となり活きた手話を学ぶことができたとおっしゃっていただけました。

参加者の中には、手話の読み取り技術に不安のあるかたもいらっしやって、内容が分かりにくい

部分もあったとの意見もいただきました。今後は、その部分を改善するべく、全体通訳やパソコン通訳をより強化していきたいと考えています。主催者としても、参加者の皆さんから充実した感想をいただけて大変嬉しいです。

■ 今後の展開

今後の展開としては、今回、取り上げることができなかったプリスタ(点字器械)を使ったコミュニケーション技術の講習会を開催していきたいと考えています。またパソコン通訳の技術についても、学習の期間や回数を改善して、しっかりと学びやすい体制を作りたいと考えています。

補助をいただき、9回の講習を開催することができました。1年の単発で終わるのではなく、今後もこのような場を継続的に開催できるようにしていきたいと考えています。